



人間ドックに国保からの助成を！

問 柳井広域の市町で国民健康保険からの人間ドックへの助成が行われていないのは周防大島町のみです。

今後の助成について、また、町立病院での人間ドックの実施について伺います。

生活習慣病の予防を目的とした特定健診に対し、人間ドックはがんなどのあらゆる病気の予防や早期発見のために行われます。高額医療費の抑制や、町立病院では町外からの受診者を受け入れることで収益の増加が期待されます。

町 長

関係各署と協議をしていきます。

答 (町長) 以前は町立病院で人間ドックを実施し、国民健康保険からの助成も行っていましたが、受診者が少なかったため中止し、現在は特定健康診査を実施しています。

人間ドックの今後の再開については、関係各署と協議をしていきます。(病院事業管理者) 町民向けの人間ドックは、要望があれば検討していきます。



マイナ保険証でオンライン化の恩恵を！

問 マイナ保険証に切り替えると、本人の同意のもと診療や薬剤情報、特定健診情報、医療情報をマイナポータルで閲覧でき、救急時などの検査の減少、電子カルテ確定申告や限度額を超える医療費が自動的に免除される高額療養費制度の利用が便利になります。

利用者を増やすために、マイナ保険証の方が、医療費が安くなることも現場で周知をすべきでは？

現場でできる周知方法を検討し、マイナ保険証のPRをしっかりとさせていただきたい。

町 長

広く周知に努めたい。

答 10月17日現在、周防大島町国民健康保険におきましては、被保険者数4,048名中2,674名(66.1%)、10月14日現在、後期高齢者医療保険においては、被保険者4,821名中2,768名(57.4%)がマイナ保険証登録を完了しています。

今後も国が作成したPR資料等を活用して広く周知に努めたい。



農業委員会の情報公開は適切と考えていますか？

問 農業委員会総会議事録の情報公開請求をしたところ、2種類の文書が開示されました。公文書はひとつしかないはずであり、このようなことが起きた理由をお伺いします。

10ページ分もの議事録が削除されているということが原因であり、削除しないものと削除したものの2種類の議事録が公文書として存在するところが大きな問題です。

農業委員会会長

不適切な事象は改めて行きます。

答 以前から慣例として「会議全体を文字起こしした議事録」と「議案と関係しない意見交換や雑談など本題から離れた部分を外した総会の議事録」を作成してきました。

今後は公文書として、総会の議事録のみを作成するよう改めます。

農業委員会とは：

農地法に基づく農地の売買などの許可や転用への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会として市町村に設置されています。